



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所 東
コード番号 8138 URL <https://www.sankyokasei-corp.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小川和夫
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 青戸淳（TEL）06-6271-1881
半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	13,277	3.2	230	62.9	293	38.9	475	256.3
2025年3月期中間期	12,862	1.4	141	24.7	211	17.0	133	13.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 273百万円（△16.4%） 2025年3月期中間期 327百万円（△35.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	527.75	—
2025年3月期中間期	99.99	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	14,935	8,870	59.4
2025年3月期	16,178	8,712	53.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 8,870百万円 2025年3月期 8,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2026年3月期	—	50.00			
2026年3月期（予想）			—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	27,200	0.3	475	2.4	570	△2.9	630	0.1
								700.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	1,145,500株	2025年3月期	1,145,500株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	247,778株	2025年3月期	226,417株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	900,301株	2025年3月期中間期	1,333,749株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、猛暑特需の一巡や原材料・物流コストの高止まりが続き、仕入単価上昇の影響による販売単価への転嫁の遅れなど企業収益の下押しもありましたが、堅調な建設需要やデジタル投資の拡大で上向き傾向が続きました。このような状況の下、当社グループにおいては、国内外の新たな機能性商材の取引拡大に引き続き注力いたしました。

これらの結果、売上高は132億7千7百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は2億3千万円（前年同期比62.9%増）、経常利益は2億9千3百万円（前年同期比38.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は4億7千5百万円（前年同期比256.3%増）、対前年同期比で増収増益となりました。

主な増益要因としては、政策保有株の売却益及びグループ各社の売上高増ならびにコストの適正化を推進したことが寄与しました。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

[科学事業]

<土木・建材資材関連分野>

土木関連分野では、土壌改良材原料の増加はあったものの、道路舗装材用改質剤が減少し大幅な減収となりました。

建材資材関連分野では、建材ボード用薬剤、住設機器用部材ならびに成形材料等が伸長し大幅な増収となりました。

<情報・輸送機器関連分野>

情報関連分野では、粘着剤用基礎化学品や電子機器用絶縁材料等が堅調に推移し前年並みとなりました。

輸送機器関連分野では、自動車部品用材料や搬送機器関連材料及びモーター用含浸樹脂が伸長し大幅な増収となりました。

<日用品関連分野>

日用品関連分野では、トナー用原材料や保湿材用薬剤の伸長があり大幅な増収となりました。

フィルム関連分野では、チルド食品及び冷凍食品用包装フィルムは堅調に推移しましたが、生鮮野菜用包装フィルムが減少し減収となりました。

<化学工業関連分野>

繊維関連分野では、工業繊維用薬剤のスポット販売があり大幅な増収となりました。

化学工業関連分野では、水処理剤用輸入化学品ならびに各種機能性樹脂が伸長し増収となりました。

これらの結果、科学事業セグメントの売上高は115億7千万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は3億6百万円（前年同期比54.3%増）となりました。

[建装材事業]

造作関連製品は堅調に推移しましたが、住宅用関連製品の出荷が低調で減収となりました。

これらの結果、建装材事業セグメントの売上高は17億7百万円（前年同期比24.2%減）、営業利益は3千2百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、6億7千9百万円減少し102億9千4百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が4億1百万円、商品及び製品が1億9千3百万円、電子記録債権が1億2千2百万円減少し、現金及び預金が8千5百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、5億6千3百万円減少し46億4千1百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が5億3千4百万円、有形固定資産が1千8百万円、無形固定資産が1千万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて、12億4千2百万円減少し149億3千5百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ、13億円減少し51億7千8百万円となりました。これは主に、短期借入金が7億2千万円、買掛金が4億3千9百万円、未払法人税等が8千4百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、1億円減少し8億8千7百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が3億4千1百万円、その他に含まれる繰延税金負債が7千4百万円減少し、長期未払金が3億1千8百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて、14億円減少し60億6千5百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、1億5千8百万円増加し88億7千万円となりました。これは主に、利益剰余金が4億2千8百万円、自己株式が6千8百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億5千8百万円、為替換算調整勘定が4千3百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、15億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千5百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、1億8千7百万円(前中間連結会計期間は5億7千4百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益6億9千3百万円、売上債権の減少5億円、長期未払金の増加3億1千8百万円などの収入に対し、仕入債務の減少4億6千2百万円、投資有価証券売却損益4億円、役員退職慰労引当金の減少3億4千1百万円などの支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の増加は、7億8千万円(前中間連結会計期間は9百万円の減少)となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による9億3百万円の収入に対し、投資有価証券の取得による1億7百万円、有形固定資産の取得による1千万円などの支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、8億3千8百万円(前中間連結会計期間は7千2百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の減少額7億2千万円、自己株式の取得による7千5百万円、配当金の支払額4千1百万円などの支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2025年5月9日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日公表の「2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,469,080	1,554,446
受取手形及び売掛金	5,713,596	5,312,296
電子記録債権	2,467,254	2,345,213
有価証券	100,000	-
商品及び製品	1,031,964	838,275
仕掛品	29,598	35,800
原材料及び貯蔵品	70,795	69,123
その他	91,834	139,351
流動資産合計	10,974,124	10,294,508
固定資産		
有形固定資産	1,568,295	1,549,947
無形固定資産	80,472	70,470
投資その他の資産		
投資有価証券	3,424,920	2,894,638
その他	131,003	126,535
貸倒引当金	△475	△475
投資その他の資産合計	3,555,448	3,020,699
固定資産合計	5,204,216	4,641,117
資産合計	16,178,340	14,935,625
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,987,431	3,547,636
電子記録債務	1,105,250	1,066,887
短期借入金	720,000	-
未払法人税等	317,814	233,803
賞与引当金	79,095	81,206
役員賞与引当金	17,940	8,902
その他	250,993	239,759
流動負債合計	6,478,525	5,178,194
固定負債		
役員退職慰労引当金	341,116	-
長期未払金	-	318,990
退職給付に係る負債	33,461	28,655
その他	613,141	539,635
固定負債合計	987,718	887,281
負債合計	7,466,244	6,065,476

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 716, 600	1, 716, 600
資本剰余金	1, 433, 596	1, 433, 596
利益剰余金	4, 783, 882	5, 212, 192
自己株式	△800, 850	△869, 213
株主資本合計	7, 133, 228	7, 493, 175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 355, 162	1, 196, 964
土地再評価差額金	32, 739	32, 739
為替換算調整勘定	190, 966	147, 269
その他の包括利益累計額合計	1, 578, 868	1, 376, 973
純資産合計	8, 712, 096	8, 870, 148
負債純資産合計	16, 178, 340	14, 935, 625

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	12,862,012	13,277,410
売上原価	11,688,893	11,957,497
売上総利益	1,173,119	1,319,913
販売費及び一般管理費	1,031,889	1,089,871
営業利益	141,229	230,041
営業外収益		
受取利息	5,831	1,285
受取配当金	59,404	60,685
仕入割引	1,111	1,467
その他	11,966	11,057
営業外収益合計	78,314	74,496
営業外費用		
支払利息	40	2,869
持分法による投資損失	1,697	172
為替差損	2,346	4,340
支払補償費	2,300	-
その他	2,150	4,120
営業外費用合計	8,535	11,501
経常利益	211,009	293,036
特別利益		
投資有価証券売却益	2,651	446,102
特別利益合計	2,651	446,102
特別損失		
投資有価証券売却損	-	45,809
特別損失合計	-	45,809
税金等調整前中間純利益	213,660	693,328
法人税、住民税及び事業税	80,300	218,194
法人税等合計	80,300	218,194
中間純利益	133,360	475,133
親会社株主に帰属する中間純利益	133,360	475,133

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	133,360	475,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149,448	△158,197
為替換算調整勘定	48,494	△43,428
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,280	△268
その他の包括利益合計	193,662	△201,894
中間包括利益	327,022	273,238
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	327,022	273,238
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	213,660	693,328
減価償却費	53,519	48,536
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,041	2,111
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,040	△9,038
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,483	△4,805
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△121	△341,116
受取利息及び受取配当金	△65,236	△61,970
支払利息	40	2,869
持分法による投資損益(△は益)	1,697	172
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,651	△400,292
売上債権の増減額(△は増加)	719,410	500,559
棚卸資産の増減額(△は増加)	△117,290	184,178
その他の資産の増減額(△は増加)	△65,245	△44,542
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,346,155	△462,677
長期未払金の増減額(△は減少)	-	318,990
その他の負債の増減額(△は減少)	△42,770	△30,675
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,210	14,867
その他	-	14,734
小計	△682,835	425,229
利息及び配当金の受取額	66,528	62,290
利息の支払額	△40	△2,869
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	41,767	△296,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	△574,580	187,762
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,719	△10,788
有形固定資産の売却による収入	-	80
無形固定資産の取得による支出	-	△4,694
投資有価証券の取得による支出	△15,457	△107,950
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	11,651	903,699
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,525	780,346

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△720,000
長期借入金の返済による支出	△10,455	-
リース債務の返済による支出	△1,862	△1,164
自己株式の取得による支出	△409	△75,582
配当金の支払額	△59,980	△41,578
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,706	△838,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,396	△44,417
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△624,416	85,366
現金及び現金同等物の期首残高	2,415,654	1,429,080
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,791,238	1,514,446

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,611,447	2,250,564	12,862,012	—	12,862,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,611,447	2,250,564	12,862,012	—	12,862,012
セグメント利益	198,491	58,295	256,787	△115,557	141,229

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,570,376	1,707,034	13,277,410	—	13,277,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,570,376	1,707,034	13,277,410	—	13,277,410
セグメント利益	306,245	32,902	339,147	△109,105	230,041

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。